

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101862
法人名	社会福祉法人 天祐会
事業所名	ララシャンス七福神
所在地	鹿児島県鹿児島市城西一丁目1番5号 (電話) 099-206-2729
自己評価作成日	令和3年2月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年3月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設3年目となる事業所です。市街地も近く、近隣にはスーパーや公園、学校等もあり落ち着いた地域の中にある4階建ての建物です。2,3階がグループホームの居住スペースとなっており、1階はオレンジテラス(地域交流室)となっておりNPO法人オレンジハート(社会貢献活動の実施、認知症カフェ)との共同にて地域との交流を図れる環境を整えております。4階には認知症対応型デイサービスを開設しております。事業所が特に力を入れている点としまして、心を込めた5つのケアをスローガンに心身機能活性運動療法(認知症改善プログラム)、アニマルセラピー、家庭的ケア、薬膳メニューを実施し、認知症症状の改善に取り組んでおります。また、企業理念である「その人らしい命の尊重」をもとに、ご入居者様やご家族様の「できたらいいなあ」をご本人様やご家族様と共に見つけ出し、そのできたらいいなあを実現できる取り組みを積極的に行っております。さらに、法人内で事例発表会を行うことで理念の共有や実現に努めております。職員のスキルアップや人間力にも力を入れ、多彩な研修会を開催しスキルアップに努めております。認知症ケアにおける知識や技術の学びの場を設け、職員が認知症ケアのプロとなれるようヒューマンスキルの向上に力を入れ、ご入居者様やご家族様との絆づくりにも力を入れています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・心を込めた5つのケアがある。
  - 心身機能活性運動療法 ○アニマルセラピー ○アロマセラピー
  - 家庭的なケア ○薬膳メニュー
- ・町内会に加入し回覧板で地域の情報を得ている。ホームは誰でも立ち寄り、相談できるようにオレンジテラスを常設している。
- ・食事に薬膳を取りいれている。
- ・協力医療機関と連携し、24時間医療連携体制が整っている。
- ・理念「その人らしい命の尊重」を掲げ「できたらいいなあ」の取り組みを行い、職員の資質向上を図り、事例発表会等を行っている。
- ・職員はキャリアアッププランを作成し、個々の目標を設定し、目標達成できるように取り組んでいる。
- ・法人内外の研修に参加し、個人のスキルアップに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえた法人の事業理念やビジョンがあり、職員は毎日の昼礼の際に理念唱和することで理念やビジョンに沿って行動できる様意識付けし、気づきの発表や事例発表会を開催している。	法人の理念があり、昼礼時に唱和し振り返りを行い、意識付けをしている。年間目標や方針を基に気づきや事例発表会を行い、日々の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、回覧やなどを通じて町内の清掃活動や地域の夏祭りなどの行事に出かけたりしている。いつでもどなたでも気軽に立ち寄ることができる様に、オレンジテラス鵜を開設している。	町内会に加入し、回覧板で情報を得たり総会に参加し交流を行っている。地域の行事はコロナ感染防止の為、自粛している。いつでも事業所に立ち寄り、相談できるように、工夫した取組みをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議にて地域の方の認知症の方の相談にお答えし、認知症の理解や事業所の取組みをお伝えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様やサービスの実際やとりくみ等現状を報告し、テーマを設けて地域の方からのご意見を頂きサービス向上に活かせるように取り組んでいる。	運営推進会議は2ヶ月毎に行い、テーマを設けて開催している。ホームの行事や取組み状況・ヒヤリハット・外部評価結果報告等を行い意見交換している。出された意見はサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域の長寿あんしんセンターとの交流を図り、情報交換を行っている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に出向き、必要に応じてホームの状況・行事・相談などを行っている。地域包括支援センターとも交流を図り、情報や意見交換を行っている。研修会はリモートでの会議に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全ての職員が禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるよう、研修に参加し学び身体拘束に対しての職員の意識アンケートを行うなどし、日々の支援の中で身体拘束となり得る行為ではないかカンファレンス等を通じてユニットで検討し共有し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人の委員会の中で身体拘束廃止委員会があり4ヶ月毎に開催している。内部研修も定期的に行っている。言葉の拘束も含め身体拘束しないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠をしていない。外に出たい時は、職員が寄り添い、一緒に散歩している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待について法人全体の研修会に参加し、職員が意識を持てるようにしている。また、事業所内で虐待の発生が見過ごされることの内容注意を払っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する研修を法人で開催し学び、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結や解約に関しては重要事項説明書を基に、また改定などの際にも、十分な説明を行い、不安や疑問な点はないか確認し理解、納得を得られるよう丁寧に説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	各ユニットの玄関先にご意見箱を設置しいつでも要望を述べられるようにしている。また、ご家族様と対面する機会にはご意見やご要望はないかお声掛けするよう努めている。その他、行政機関などの相談窓口を紹介している。	利用者からは、日常のケアの関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会の時やリモート面会で思いを聞いている。電話などでもホームでの状況などを報告し、意見等を記録し職員で共有している。意見箱も設置し運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人内に代表者に直接意見や提案を伝えるシステムがある。管理者は定期的に各職員との面談を行い、現場での気づきや提案を職員が行う仕組みがあり、あげられた提案などをミーティングにて検討し反映させている。	管理者と職員は日常の業務で気づいた点や改善したいことをいつでも話せるような環境にある。個人の相談事も管理者はタイミングをみて対応している。毎月の気づきシートやミーティングの中で、意見や提案を把握し、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員がキャリアプランを作成し、個々の目標を設定し目標に向かい達成できるよう支援している。給与ややりがいに等について等級の設定や職場環境が整っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人ひとりの力量や意欲に合わせて法人内外の研修を受ける機会を準備し個人のスキルアップに取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の他事業所の職員と委員会活動や地域貢献の事業を行っている。また他の法人や事業所との地域交流会に参加し情報交換を行いサービスの質を高めていく取り組みに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの利用を開始する段階でご本人様の困りごとや不安なこと、要望をお聞きしその内容にお応えできるようサービスを作り安心した生活が送れるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご入居される前に情報を頂き、ご家族様等の困りごとや不安に思うこと、要望や意向をお聞きし、グループホームでの対応等をご説明し、ご家族様との思いのずれが生じないように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>これまでの生活を継続できるよう、ご本人様、ご家族様の状態や、意向に沿って必要とされる支援内容を見極め、他のサービス利用（訪問歯科、介護福祉用具、訪問リハビリ等）も考慮し対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>毎日の生活においてご本人様の自律と自立の支援を大切にしており、日常の中で掃除や洗濯、炊事などの活躍できる場を設け、職員は同じ目線で立ち、暮らしを共にする関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会制限が続く中でもお電話やオンラインを用い関係性が途切れないように努めている。月ごとのお便りの中に個別にご本人様のご様子をお伝えするなどし、共に支えていく関係であることを大切にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出の制限が続く中であっても馴染みの方や馴染みの場所など、ご本人の意向に沿って、ご家族様に協力をもらいながら関係性が途切れないように工夫し支援に努めている。	馴染みの人には電話や手紙の取次ぎで対応している。個別で受診等の帰りの時に、馴染みの場所へ行ったりしている。美容室は訪問を依頼している。馴染みの店での買い物や墓参り等、家族の協力を貰いながら支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や気質、状態を考慮し、ご入居者さま同士の関係性を把握し配慮している。他ユニットの交流を行事の際や、普段より交流できるよう努め、孤立することなく入居者様同士が関わり合い支えあえるように支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了した際には、グループホームでの生活のご様子がわかるようなお写真やメッセージをお送りしている。必要に応じて経過をフォローし相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の生活歴や暮らし方の希望、思いや意向の把握に努め、ご家族様からも情報を頂きご本人様のこだわりを大切にし、ご本人様の立場に立ってご支援できるよう努めている。	毎日の暮らし中で思いや希望を話してもらえ環境作りに努めている。個別に把握し職員が共有できるようにしている。入浴時や夜間の眠れない時に話す事がある。家族と情報を共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	できる限り多くの必要な情報を得て、これまでの暮らしの把握に努めている。ご本人様、ご家族様、以前のサービス担当者などから情報を得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間シートを基に支援し、一日の過ごし方や、心身の状態や有する力等の現状の把握に努めこだわりや、時間単位でできること、支援が必要なことなどを観察し現状把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成にあたり、計画作成担当者が個人記録を参照し、担当職員に状況確認を行っている。またユニットミーティングにてご入居者様の個別のカンファレンスを行い状態に応じた対応や支援の方法を話し合い介護計画書を作成している。	本人や家族の思いを聞き、主治医からの意見を参考に介護計画を作成している。モニタリングで評価し、6ヶ月毎や状況に変化があった時はその都度見直し、介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各勤務において各ご入居者様のご様子等を個人記録に記入し、特記事項については日誌に記録を残して職員間で情報を共有している。毎日ユニットで夕礼を行い情報の共有を図りながら、介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	基本的な一日の業務とご入居者様においては24時間シートに沿った個別の一日の流れがあるがお散歩や買い物などの突発的に生まれたニーズに対しても柔軟に対応できるよう工夫し支援を行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご入居者様お一人お一人の暮らし方を支えている地域資源は何かを把握しご本人様が有する力を発揮し安全で豊かな暮らしができるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様ご家族様のご希望に沿ってかかりつけ医を決定している。訪問診療の往診を希望されているご入居者様が多く、24時間急変に際してもすぐに対応できる関係を築いている。	本人や家族の希望を大切にかかりつけ医の受診を支援している。訪問診療もある。訪問看護やホームの看護師で健康管理に努めている。24時間医療連携体制が整っており適切な医療を受けている。日常の身体状況の変化、特に食事や排泄等を報告し主治医との連携につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師が正職で勤務しておりご入居者様の変化をすぐに相談、対応できる仕組みをとっている。必要時は訪問看護を取り入れ相談や助言をいただき適切に看護を受けられるように体制を整えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>かかりつけ医の指示に従いご家族様の意向も確認し、入居様様が安心して治療でき早期に退院できるように、医療機関との連携を図っている。常々、そのような場合に備えてかかりつけ医と情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期におけるご本人様やご家族様の意向については早い段階からお聞きしている。その時期を迎えた場合には、その段階に応じて適宜、事業所の看取りに関する指針や事業所でできることを十分にご説明し、意向を確認し、関係者と協力しチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に利用者と家族に説明し同意を得ている。状況が変化するにつれ、事業所でできることを説明し、家族の意向を確認している。食事が摂れなくなった時点で、家族と主治医で話し合い、転移も含めて説明している。ホームには看護師が勤務しており、看取りの対応もできる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員全員が普通救命講習を受け終了証を持っている。法人内には講師がおり、新入職者については直近の講習を受けることになっている。急変時の対応についての研修を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の火災避難訓練、災害避難訓練を開催することになっており実施している。地震、火災、水害等また昼夜それぞれを想定した訓練を行い運営推進会議等で地域の方への協力体制を築いている。</p>	<p>夜間を想定して火災避難訓練を年2回行っている。避難経路・避難場所の確認等も行っている。民生委員や自治会長なども連絡網に入っている。スプリンクラー・消火器、緊急通報装置の防災設備は業者が定期的に点検している。災害用の水・缶詰・ラーメン・レトルト食品等、3日分位を目安に備蓄している。卓上コンロ等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>プライバシーに関する研修の中で具体的な例を用い職員に意識できる取り組み、言葉かけに関して尊厳のある言葉を意識し、その場でフィードバックできるように努めている。カンファレンス等で尊厳を考慮した言葉かけや支援の方法を共有している。</p>	<p>プライバシーについて、研修会を実施している。言葉かけは馴れ馴れしくならないように注意している。トイレや入浴介助、入室時のロックや利用者の了解を得て入室している。申し送りは部屋番号で行っている。プライバシーを損ねないように対応している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご入居者様の状態に合わせた言葉かけを行い、希望を表現したり自己決定できるように、選択できる言葉で言葉かけを行っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>24時間シートに沿って声かけや支援を行っているが、その日その時のお気持ちを汲み取りどのように過ごしたいか、希望に沿って柔軟に支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>衣服は着たいものを選択し手頂き、時にはマニキュアを塗ったり美容クリームを愛用されている方は日課として継続していただけるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	薬膳メニューや季節の食材、行事食や好みの食を取り入れ、ご本人の有する力に応じてご自分の力を生かしながら食事を楽しめるよう支援している。職員と共に下ごしらえや片付け、配膳の準備などを楽しみながら行っている。	食事専門の職員が季節の食材を使い料理を工夫し楽しめるようにしている。薬膳料理を取り入れ、みかんの皮や旬の野菜を使って調理している。食器洗い・盆拭き・配膳・テーブル拭き等、職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事量のチェックや水分量のチェックを行い状態に応じて必要量を補えるよう支援している。その方の状態や有する力、習慣に応じた工夫を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行う。ご自身で歯磨きをされる方に関してもしっかりと仕上げを行い口腔内や舌の状態を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、その方の排泄パターンに合わせてトイレ案内を行っている。ご本人の状態に合わせて、できる限り日中はトイレでの排泄を行っている。排泄時間の記録をとり適宜ご案内する支援を行っている。	排泄記録で一人ひとりのパターンを把握し、トイレでの排泄を支援している。転倒に気配りして見守りや介助をしている。ポータブルトイレは夜間のみ使用している。2人介助もしている。オムツからリハビリパンツに改善した利用者もおり、自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物で便秘の改善効果のあるものを取り入れたり、水分摂取や個々に応じた予防に取り組んでいる。排便の記録を行い、ご本人の状態に応じて便秘による不調ではないか確認している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	基本的な入浴のスケジュールがあるが、ご本人の意向を大切にしている。入浴したいときに入浴できる支援を行っている。	入浴は週に2回を目安にしているが、希望があれば柔軟に支援している。足浴・シャワー浴・清拭・機械浴にも対応している。入浴を拒否する利用者には時間や職員を変更し翌日にする等、無理強いしないようにしている。入浴剤は好みで使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活習慣や、状況に応じて休息できる時間を作っている。就寝もご本人の意向をお聞きしながら行い、安心して気持ちよく眠れるようアロマを用いたり、照明や室温、寝具などの工夫を個別に行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の薬情を「ファイル」してあり、職員が内容を把握できるようになっている。お薬の変更時には記録に残し情報共有し状態観察できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の会話や支援を行う中でご本人様が楽しみや、やってみたいこと、できたらいいなあと思うことを把握し実施している。生活の中で喜びや気分転換が図れるよう支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別に対応している。今年はコロナの影響により外出の機会は少なくなってしまったが、ドライブや近くの公園へ行くなどを行った。ご家族様にご協力をいただきながら可能な中での外出支援を行っている。	近隣の散歩や近くの公園へ出かけている。希望を聞いて個別にドライブで車の中から景色を眺め季節を感じている。年間計画を作成し、初詣や花見・買い物等に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理ができる方には管理していただいている。希望時には買い物に出かける支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族様からのお電話はいつでも取次している。ご本人様からの希望時にもご家族様へ連絡を取りお電話で会話をされている。希望に沿ってお手紙を書く支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングフロアでは小人数で使えるようテーブル数を多くしている。いつでもくつろげるようにソファの設置をし季節を感じられるような設えをしている。ご入居者様にとって不快とまらないような、光、温度、湿度、音などの調整をしている。	リビングはガラス窓が多く明るい。加湿器や空気清浄機を設置している。ソファが置かれ利用者は好きな場所でテレビを見ている。壁にはひな人形や皆で作った作品を飾ったり季節感ができるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に居場所が作れるようにその時々で自由にソファでくつろいだり、テーブルセッティングしたり工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具の持ち込みやご本人が居心地がいいと思える居室を作って頂けるようにご家族様と共に安全に配慮した居室づくりをしている。	エアコン・ベッド・カーテンが設置してある。家から持ち込まれたタンス・家族写真・冷蔵庫・テレビ・加湿器・位牌・ぬいぐるみ等を置き、好みの小物も持ち込み、ゆっくりくつろげるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人おひとりのできること、わかることをアセスメントし日常生活の中で、安全に自立した生活が行えるように配慮し環境を整えている。（表札、トイレの表示ご本人の目印等）		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない